

ご当地グルメ王国・くだもの王国の道路整備

岡山県 土木部 道路整備課

1. はじめに

岡山県は、古くから中四国地方の交通の要衝となっており、山陽道や出雲街道をはじめとする「陸の道」、高瀬舟を利用した「河の道」、北前船の往来等による「海の道」が緊密に結びつき、人や物が活発に行き交う地域として発展してきました。

現在は、四国につながる瀬戸大橋をはじめ縦横に伸びる高速道路網(面積あたりの実延長が全国第6位)、山陽新幹線をはじめ JR 岡山駅から東西南北に7本の在来線が交わる鉄道網、3,000m 滑走路が整備され国内外を結ぶ数多くの路線を有する岡山空港、国際バルク戦略港湾にも選定され国際的機能がますます高まる水島港など、全国でもまれに見る交通基盤が充実した地域であり、世界を視野に入れた陸海空の広域交通網の結節点となっています。



岡山市からの高速道路2時間圏域

岡山市から高速道路を利用して2時間で移動できる範囲の人口も1,600万人に達し、JR岡山駅からは、中四国の県都すべてに乗り換えなしで行くことができます。こうした恵まれた交通環境を背景に、岡山県には温暖な気候、自然、歴史などに裏付けられた全国に誇る観光資源が多数あります。中でも、日本三名園の一つである岡山後楽園、白壁の町並みが残る倉敷美観地区、西日本屈指の高原リゾート蒜山高原、中国山地の出湯美作三湯などが人気があります。

最近では、地元の食材や味つけを生かした地域独自の料理がB級ご当地グルメとして人気を呼んでいますが、昨年12月に姫路市で開催された第6回B-1グランプリにおいて、ひるぜん焼そば好いとんがゴールドグランプリ、津山ホルモンうどん研究会がシルバーグランプリ、そのほかにも日生カキオコまちづくりの会が9位と岡山県勢が大活躍しました。

県内には、その他にも、デミグラスソースがかかったデミカツ丼(岡山市)、鶏ガラスープに醤油味で鶏肉のチャーシューをのせた笠岡ラーメン(笠岡市)、イノシシ肉を使いたいのにしラーメン(新見市)など多くのご当地グルメがあり、県内はもちろんのこと県外からも多くの方が訪れています。



ひるぜん焼きそば

味噌だれ、具材にカシワ肉（親鶏の肉）を使うことが特徴の焼きそば
（岡山県真庭市北部の蒜山地方）



津山ホルモンうどん

具材に牛ホルモンを使うことが特徴の焼きうどん
（岡山県津山市）



日生カキオコ

具材に多量のカキを使い、独自の焼き方で作られるお好み焼き
（岡山県備前市日生地区）

こうしたご当地グルメブームにも支えられ、県内各地を訪れる観光客も増加傾向にあり、各観光地へのアクセス強化など道路整備の重要性がますます増して行く中、本県の幹線道路網の形成をつかさどる道路の県管理区間は約 3,700km にも及んでいます。こうした県管理の道路の主な整備事業について報告させていただきます。

2. 岡山県の道路整備

岡山県内では、高速道路網は概成したものの、その他の道路の改良率は約 49%（全国平均は約 61%）と低い水準にあります。岡山県では、県政の基本目標である「快適生活県おかやま」の実現に向けて「第3次おかやま夢づくりプラン」を策定し、「発展につながる産業づくり」や「中山間地域活性化プロジェクト」等に取り組んでいます。その中で、美作岡山道路等の地域高規格道路をはじめとする地域間連絡道路の整備を推進するとともに、インターチェンジや物流拠点へのアクセス道路の整備、中山間地域での「おかやまスタンダード」による交通難所の解消など、地域の実情に応じた道路整備を計画的、効率的に進めています。



【岡山県地域高規格道路路線図】

① 美作岡山道路の整備

地域高規格道路美作岡山道路は、岡山県岡山市東区から岡山県勝田郡勝央町に至る延長約 36 km の道路であり、中国縦貫自動車道、山陽自動車道、中国横断自動車道岡山米子線と一体となって広域交通網を形成するとともに、美作圏域と岡山圏域の交流を促進し、地域の活性化に大きく寄与するものです。

平成5年度に事業着手して以来、平成18年2月に熊山インターチェンジ(赤磐市可真下)～佐伯インター

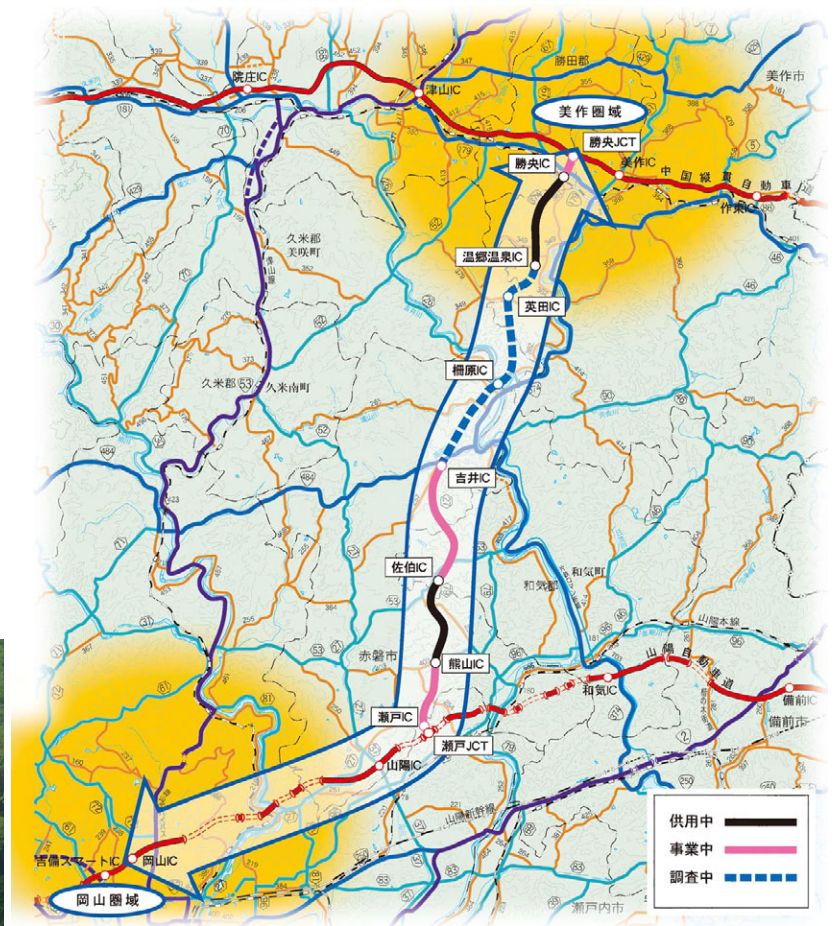
チェンジ（和気町小坂）間の4.8キロが供用開始され、平成24年3月には、湯郷温泉インターチェンジ（美作市位田）～勝央インターチェンジ（勝央町黒土）間5.6キロが供用開始されました。

現在、岡山県及び岡山市により、瀬戸ジャンクション（岡山市東区瀬戸町）から熊山インターチェンジ間、佐伯インターチェンジから吉井インターチェンジ（赤磐市稲蒔）間及び勝央インターチェンジから勝央ジャンクション（勝央町黒土）について早期供用開始に向けて工事を実施しています。



湯郷温泉インターチェンジ付近
(平成24年3月供用開始)

地域高規格道路「美作岡山道路」の整備構想図



② おかやまスタンダードによる交通難所の解消

おかやまスタンダードイメージ図



中山間地域などの道路整備を効率的・効果的に進めるため交通量が比較的少ない県道については、2車線にこだわらない整備を行うこととしています。また、道路改良により歩道を整備する場合は、自動車や自転車・歩行者の交通量、沿道の土地利用状況に応じてきめ細かく設置します。



車両のすれ違いが困難な幅員の狭い道路について、待避所を設置することにより、すれ違いを可能にします。



山の斜面により見通しの悪い道路について、山の斜面を一部除去することにより見通しを良くします。

3. おかやまアダプト推進事業

岡山県では、県管理の道路、河川、海岸、公園の一定区間を養子（アダプト）と見なして、愛着をもって清掃美化に取り組むボランティア団体を募集し（年1回）、活動団体として認定する「おかやまアダプト推進事業」を平成12年度から実施しています。

県は認定団体に対し、活動資材購入費等の助成を行うほか、ボランティア保険への一括加入や団体の社会貢献をアピールすることにより、また市町村は、清掃活動等により集めたゴミを処理すること等により団体の活動をバックアップすることとしています。



	基本型	付加型・花街道型
作業内容	公共施設及び周辺の紙屑、空き缶等の除去、道路標識の清掃を行う。	基本型に加え、除草、花壇の手入れ、植樹帯の補植、灌水、施肥等を行う。
交付金の対象 (具体例)	ホウキ、火ばし、軍手、ゴミ袋、タオル等	左記に加え、除草用具（草刈機、替え刃、燃料）、花木の種苗、肥料等
交付金額	年間1団体あたり上限 20,000 円	年間1団体あたり上限 30,000 円

おかやまアダプト推進事業には、主に清掃活動を行う基本型と、基本型に加え除草、花壇や植樹帯の手入れを行う付加型・花街道型の2つのタイプがあり、平成23年度における参加団体の合計は1,230団体、参加者数は約4万3千人となっています。これは、平成19年からスタートした「新おかやま夢づくりプラン」の目標であった参加者数4万人を達成し、第3次おかやま夢づくりプランにおいても「未来につなぐ！自然と景観の保全プログラム」の基本施策の一つに掲げられています。



このうち、道路を対象とした団体については、500m以上（うち岡山県管理の国道・県道が概ね半分以上）の区間を年間4回以上清掃美化すること又は、岡山県管理の国道・県道の路肩等に設置された延長20～50m程度の花壇や植樹帯内の花木の植栽・管理を年間を通じて行う10人以上のグループを対象としており、参加団体は357団体、参加者数は約12,000人、その延長は約450kmとなっています。

おかやまアダプト事業参加団体及び参加人数の推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
道路団体数	130	181	225	298	304	318	328	360	337	349	357
河川団体数	14	61	182	289	419	484	554	634	708	784	846
海岸団体数	1	9	11	15	16	15	16	16	18	19	18
公園団体数	-	-	-	-	-	1	2	3	9	9	9
団体数合計	145	251	418	602	739	818	900	1,013	1,072	1,161	1,230
参加人数計	7,100	11,500	16,900	23,420	26,900	31,120	33,980	35,751	36,330	40,752	42,902

※平成21年4月1日に岡山市が政令指定都市に移行したことに伴い、岡山市内の県管理道路が岡山市へ移管されたため、道路団体数は減少している。

4. おわりに

岡山県では、年間を通じて日照時間が長く、瀬戸内の穏やかな気候が果物づくりに適しており、桃やぶどうを中心とした多くの果物が生産されています。

特に、岡山市内で育成された清水白桃や、120年を超える長い歴史と9割以上のシェアを誇るマスカットをはじめ、おかやま夢白桃、ピオーネなど多彩な果物があり、夏から秋にかけての収穫時期には、さらに多くの観光客が訪れ、冒頭に御紹介したご当地グルメと併せて、岡山県内各地において、岡山ならではの食を満喫することができます。

今後とも、岡山県内各地を訪れる方々が、安心・安全に岡山を楽しむことができるよう引き続き、交通の基盤となる道路整備に取り組むことが私たちの使命だと考えております。



清水白桃



マスカット